

ニッコウコウガイゼキショウ

Juncus nikkoensis Satake

イグサ科
Juncaceae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 掲載なし

選定理由 本県では火山山頂帯の池沼にごく希に生え、個体数も少ない。植生遷移の進行による生育環境の変化で、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布 九重火山群

分布域 北海道 本州 九州(大分)

生育環境 火山山頂帯の池沼。

現 状 生育地周辺には崩壊地もあって、生育環境は不安定である。

備 考 異名マツバコウガイゼキショウ (var. *pinifolius*) の基準標本産地 [星生山]。

ツクシイヌイ

Juncus yokoscensis (Franch. et Savat.) Satake
var. *laxus* Satake

イグサ科
Juncaceae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁 掲載なし

選定理由 分布域は狭い。本県の生育地は極めて希である。湿原の浅い水溝に、帯状に狭い範囲に生えており、土砂による埋没や植生遷移の進行などにより、絶滅の危険性が高い。

県内分布 九重火山群, (大野川上流域)

分布域 九州(大分)

生育環境 山地の湿原の水溝。

現 状 生育地は湿原中の水溝で、幅 1 ~ 2 m, 長さ 15m ほどの小面積。「大野川上流域」の標本や記録があるが、その生育地は把握されていない。

備 考 九州の特産種。

ナベワリ

Croomia heterosepala
(Baker) Okuyama

ビャクブ科
Stemonaceae

カテゴリー

大分県 情報不足
環境庁 掲載なし

選定理由

県内分布 (英彦山・犬ヶ岳山地), (津江山地), (九重火山群), (祖母・傾山地)

分布域 本州(関東地方南部以西) 四国 九州(福岡・大分)

生育環境 低山地の林内。

現 状 上記地域の標本や記録はあるが、その生育地はいずれも把握されていない。

備 考 国立公園指定植物 [瀬戸内海]